

植物たちの力を借りて共に生きる

## 新しいスキンケアシリーズ 「Hirara ひらら®」の物語

宮古ビデンス・ピローサをはじめ  
16種類の宮古島産原材料を配合！



宮古島の過酷な環境下で育てられた16種類の植物や果実のエネルギーが封じ込められたスキンケアシリーズ「Hirara ひらら®」の物語をご紹介します。その中心になるのは、可憐な白い花を咲かせるのである植物。「かつて島内では嫌われものだった雑草が、やがて島の救世主になる」。そんなストーリーを生み出したのは、その人生を費やしこの植物を育てる方々の強い想いだったのです。

生物にとって過酷な環境の宮古  
そこで育まれたパワーが凝縮！

美しい海が広がる宮古島の生育環境は、島で育つ植物にとっては極めて過酷なもの。照りつける太陽、襲来する台風、干ばつによる水不足等々。これらの環境は、長い時間をかけてこの地の植物に生き抜くためのさまざまな力を与えたのです。その代表格が、このページの主役でもある「宮古ビデンス・ピローサ」(以下、BP)という植物。研究と分析検査の結果、「抗酸化力」「抗炎症力」「免疫活性化」を誇ることが判明しているハーブです。しかし「BP」は、地下深くに根をはり、切っても生えてくる生命力の強い雑草として沖縄では忌み嫌われてきました。農業とは、草との終わりのなき戦い。を宿命づけられた職業であるから、それも当然のこと。しかし、この可能性から「BP」はこの地で薬草として重宝されるようになったのです。

取材班が訪れたのは、そんな「BP」を農薬や化学肥料、堆肥を使用せずに自然に近い形で栽培する「うるばな宮古」が契約する農園。「活自然農法」と名付けられたその製法は、生産者の友利盛三郎さんの手で心を込めて栽培されてきました。友利さんと「うるばな宮古」の安仁屋政高さんからこの植物の可能性を伝えていただいた取材班。その足で、BPをはじめ、宮古島の植物やフルーツから抽出されたエキスが配合された宮古島産コスメ「Hirara ひらら®」が生み出される工場を見学したのである。

### 宮古島プロジェクトの鍵を握るハーブ

「宮古ビデンス・ピローサ」をドリンクで味わう！



#### 「焙煎ビデンス茶」

10包入り 900円+税

「甘やかさない農法」活自然農法で栽培された宮古ビデンス・ピローサを焙煎して香ばしくしたノンカフェインタイプのお茶。



#### 「かんぼう茶」

500ml 250円+税

宮古ビデンス・ピローサと焙煎オオムギ・ウコンで飲みやすく味と香りを調整した健康茶。携帯に便利なペットボトルタイプです。

### 宮古が誇る大地と水の物語

BPの栽培で鍵を握っているのが、サンゴのミネラルがたっぷりつままった琉球石灰岩の土壌。少し掘るとサンゴの岩盤に行き当たるその大地からのエネルギーをしっかりと吸収し、たくましく育ちます。しかし、この土は雨が降っても地下に浸水して海へと流れ出てしまい、水不足の引き金となっていました。それを解消したのが「地下にダムを作る」というプロジェクト(イラスト参照)。水を通さない壁を地下に作って、地下水の流れをせきとめ、地下水を貯める「地下ダム」なくしては、宮古島の生活を語ることはできません。